



2021年3月期第3四半期決算説明資料



2021年1月27日
メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、などの各種サービスおよび公民連携による各施設・設備の設計、建設、運転・維持管理、運営を主たる業務としています。

<語句説明>

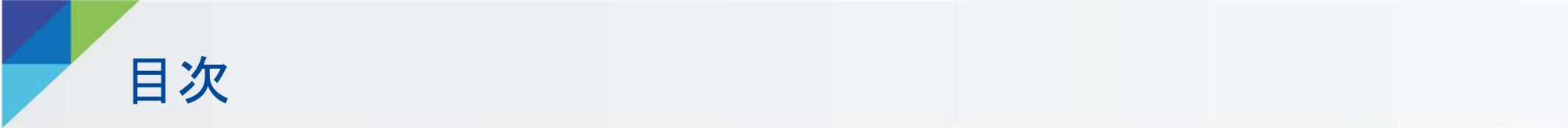
EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法



目次

I 2021年3月期第3四半期決算ハイライト

II 2021年3月期第3四半期決算概要



目次

I 2021年3月期第3四半期決算ハイライト

II 2021年3月期第3四半期決算概要

'21/3期3Q 決算ハイライト(連結)

* 受注高

EPCが好調に推移し前期実績を大幅に上回る。

(参考)受注残高：'20/3期3Q末 1,886億円 ⇒ '21/3期3Q末1,932億円

* 売上高・利益

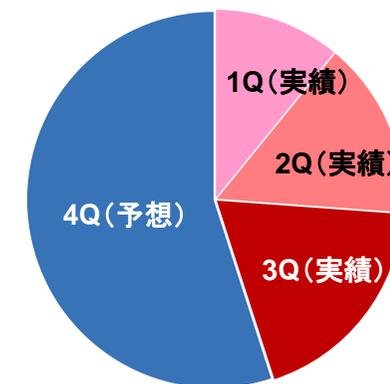
売上高は、EPC、PPPが好調に推移し増収。

利益は、退職給付信託株式売却にともなう未認識数理計算上の差異の一括償却として原価・販管費の戻し入れを計上したこと(24億円*のうち18億円)等により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増益。

* 2020年10月29日付「当社が退職給付信託に拠出している株式売却の結果に関するお知らせ」を参照ください。

3Qの業績は概ね計画通りに推移しており、通期業績については**前回公表予想(2020年10月28日付)**を据え置く。

'21/3期四半期別売上構成



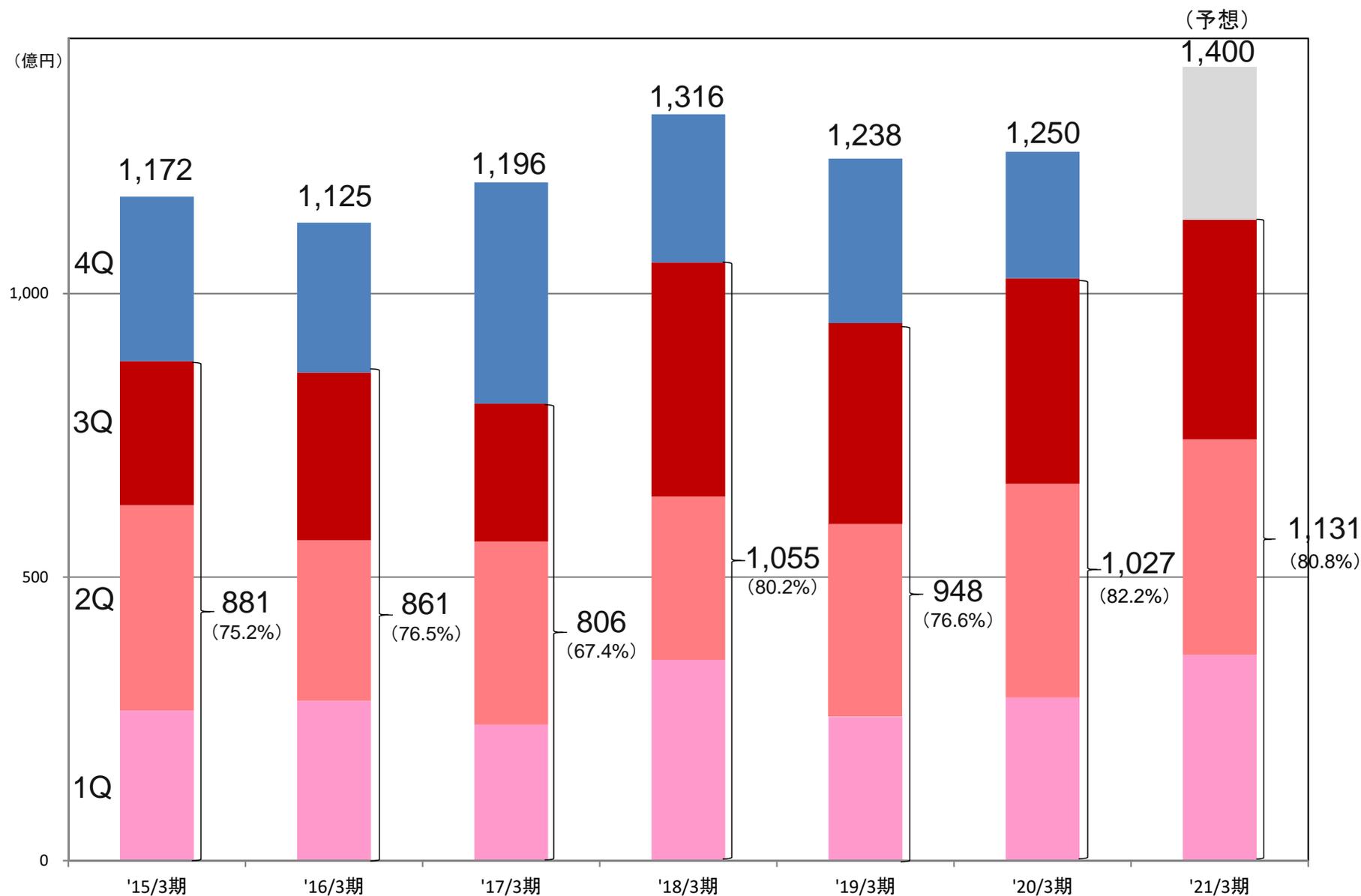
	(億円)					1株当たり配当金(円)	
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益		
'21/3期 3Q累計実績	1,131 前期比:+103 +10.1%	585 前期比:+20 +3.5%	-11 前期比:+24	-12 前期比:+23	-11 前期比:+15	第2四半期末 40	
'20/3期 3Q累計実績	1,027	565	-35	-35	-26	第2四半期末 31	
'21/3期 予想 (2020年10月28日付)	1,400 前期比:+150 +10.7%	1,300 前期比:+13 +1.0%	105 前期比:+23 +27.7%	105 前期比:+24 +29.1%	68 前期比:+11 +19.8%	第2四半期末 40	期末 20* (株式分割後)

⁵ ※10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)。

* 2020年10月1日付で1株を2株に分割しています。

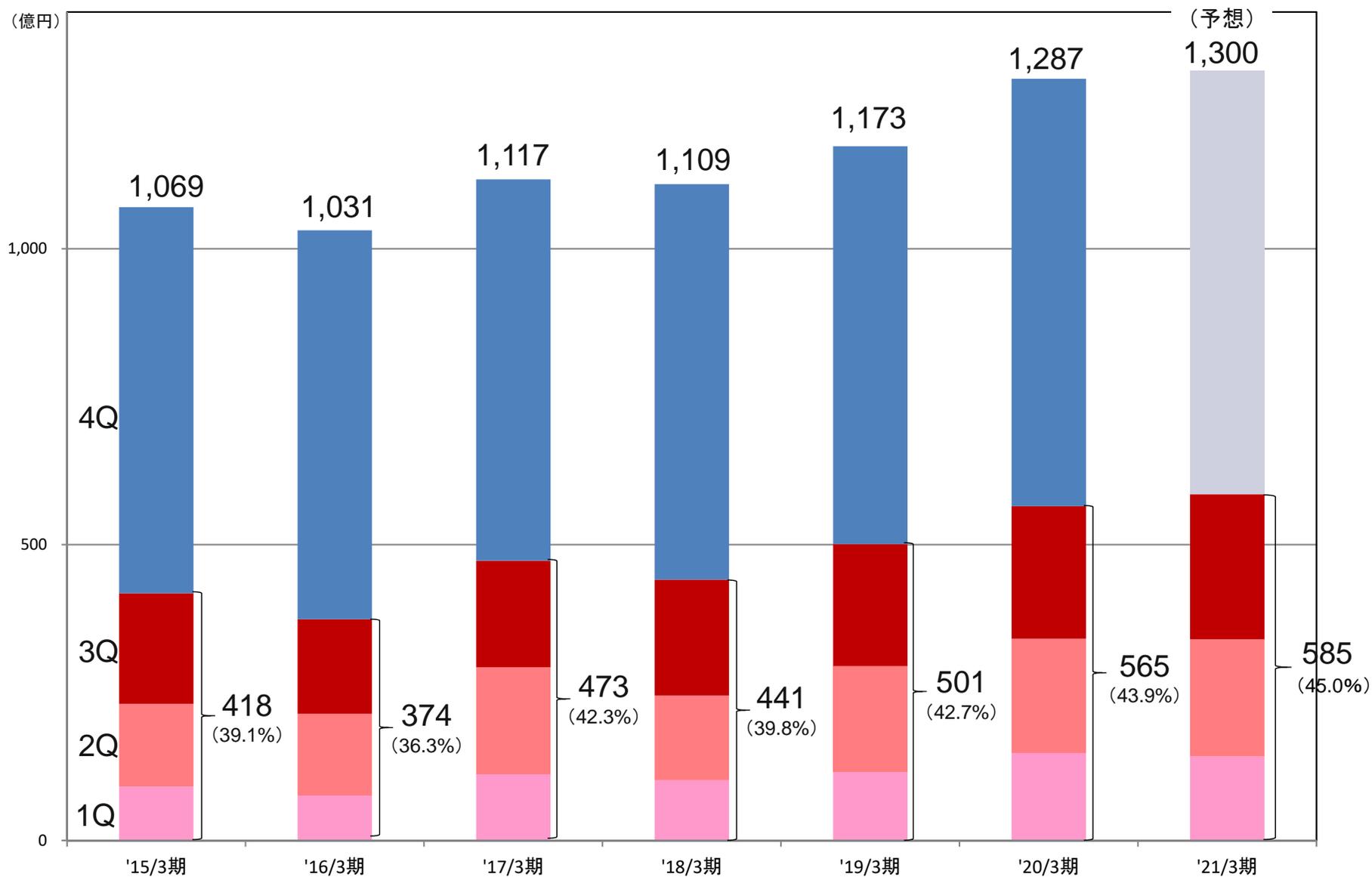
'21/3期3Q 受注高推移

例年3Q累計の受注高は年間の70%~80%前後。当3Q累計も例年並みの水準。



'21/3期3Q 売上高推移

例年3Q累計の売上高は年間の40%前後。当3Q累計の売上高も例年並みの水準。



事業活動

- * 「熊本県有明・八代工業用水道運営事業」を受託（10月）【概要はP9参照】
- * 当社グループが参画する「メタウォーターグループ・下呂管設備組合共同企業体」が災害復旧活動で岐阜県下呂市より感謝状を授与（10月）
- * オランダ Rood Wit Blauw Holding B.V.の全株式を取得（11月）【概要はP10参照】
- * 第三者割当による自己株式の処分および自己株式の消却を決議（11月）【処分および消却の概要はP11参照】
- * 「日経IR・個人投資家フェアOnline 2020」に出展（11月）
- * 株式会社格付投資情報センター（R&I）より新規格付「A」を取得（12月）

ESGの取り組み

- * 日刊工業新聞社と共催でSDGs懇談会を開催（10月）【概要はP12参照】
- * 「気候変動・災害対策Biz Online 2020」に出展（11月）【概要はP13参照】

「熊本県有明・八代工業用水道運営事業」受託

当社が代表企業を務める特別目的会社「ウォーターサークルくまもと株式会社」が、熊本県と「熊本県有明・八代工業用水道運営事業」における実施契約を締結。

本事業は、熊本県企業局が運営している有明工業用水道事業および八代工業用水道事業について、公共施設等運営権制度により取水から給水までの事業運営を一括して実施するもので、コンセッション方式で工業用水道事業を運営する国内初の事例。



熊本県 蒲島知事とウォーターサークルくまもと 松尾代表取締役社長

欧州での事業基盤強化

2020年11月9日付で、オランダの水処理エンジニアリング会社である Rood Wit Blauw Holding B.V.の全株式を取得。

欧州での事業基盤を強化し、海外事業の中長期的な成長を図る。



会社名	Rood Wit Blauw Holding B.V.
本社所在地	オランダ アルメロ市 (オランダ東端のドイツ国境付近)
代表者	Mr. Andre Reigersman
設立年月	2001年11月
主な事業	上水・下水処理関連のエンジニアリング、 サービスほか

- ・欧州全域で各種水処理システムを提供しており、特にセラミック膜ろ過システムに関しては10カ所以上の納入実績を持つ。
- ・当社グループ会社であるMecana Umwelttechnik GmbH(スイス)および FUCHS Enprotec GmbH(ドイツ)との連携により、各社が持つリソースによるグループ間シナジーの創出が期待できる。

自己株式の処分および消却

2020年11月25日、コロナ禍において業務に従事する社員への慰労と、当社従業員が株主の視点に立ち、より一層経営に興味を持って当社の中長期的な企業価値を高めていくことを目的に、当社従業員持株会の会員に対し、特別奨励金として当社株式の付与および処分株式数と同数の株式消却を決定。

2021年1月15日、当該特別奨励金の拠出をもって持株会に自己株式の処分を実施。

自己株式の処分の概要

期日	2021年1月15日
株式の種類および株式数	当社普通株式 88,500 株
価額	一株につき 2,484 円
総額	219,834,000 円
方法	第三者割当の方法による
処分先	メタウォーター従業員持株会

自己株式の消却の概要

株式の種類	当社普通株式
株式数	88,500 株
消却予定日	2021年1月29日

SDGs懇談会を開催（共催:日刊工業新聞社）

当社のSDGsに対する考え方や取り組みを自己満足で終わらせず、レベルアップさせたいという思いから、企業人や学生など多様な参加者を募り、客観的評価や助言を得るために懇談会を開催。



当社 代表取締役 社長 中村靖



参加者:オンライン 34人、会場 25人



【参加者からのご意見(抜粋)】

- ・「誰一人取り残さない」はチャレンジな目標であるが、その意識を持つことが大切だと思う。
- ・どんどん改善して、同じ熱量の同志を増やしていただきたい。
- ・自己満足にならないためには、相手の視点、文化、民族性の理解が必要だと思う。その覚悟があるのでしょうか。
- ・自分の家族を幸せにできなければ他者への施しは無理。働き方を変える取り組みを、どこまで本気でやるかだと思う。

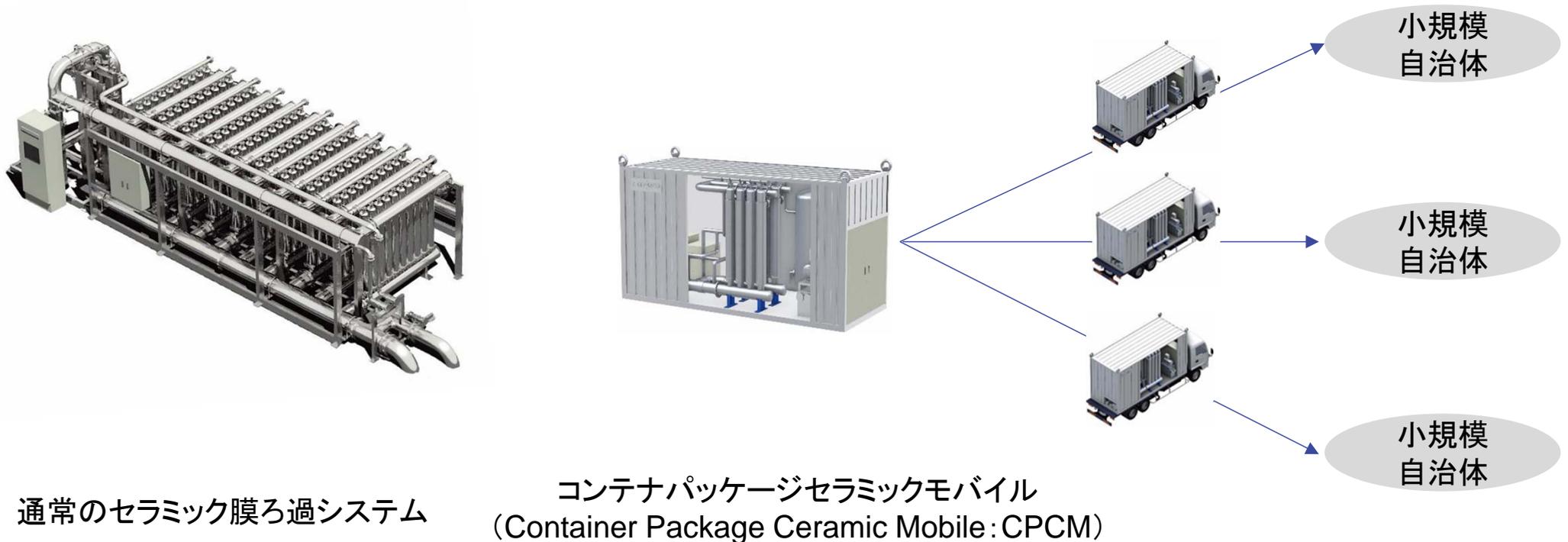
【懇談会を通じての感想(中村)】

ご参加いただいた他企業や学生の皆さんは、SDGsに関するいわば「社外役員」です。応援のメッセージも厳しいご意見もいただきましたが、これからもこのような意見交換の場を持ち続けることで、本当のゴールに一歩でも近づけるようにしたいと思います。

「気候変動・災害対策Biz Online 2020」に出展

環境・再生エネルギー・レジリエンス展である「気候変動・災害対策Biz Online 2020」において、災害時に中・大都市で大規模に応急造水するコンテナパッケージセラミックモバイル(CPCM)のリース事業を紹介。

リースアップ後には、小規模自治体や発展途上国で常時使用する浄水施設としてもう一度役割を果たす。セラミック膜の並外れた堅牢性を生かす新しい取り組み。



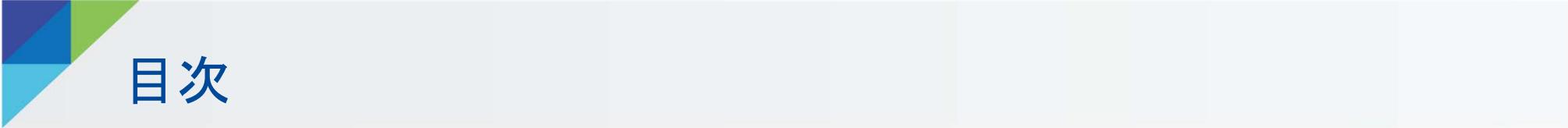
通常のセラミック膜ろ過システム

コンテナパッケージセラミックモバイル
(Container Package Ceramic Mobile: CPCM)

小規模自治体

小規模自治体

小規模自治体



目次

I 2021年3月期第3四半期決算ハイライト

II 2021年3月期第3四半期決算概要

Ⅱ 2021年3月期第3四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント別概況
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

	'20/3期 3Q実績	'21/3期 3Q実績	増 減
売 上 高	565	585	+20
営 業 利 益	-35	-11	+24
(営 業 利 益 率)	-6.1%	-1.9%	+4.2%
経 常 利 益	-35	-12	+23
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-26	-11	+15

* 10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

セグメント別概況

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'20/3期 3Q実績	'21/3期 3Q実績	増減	'20/3期 3Q実績	'21/3期 3Q実績	増減	'20/3期 3Q実績	'21/3期 3Q実績	増減
プラントエンジニアリング事業	532	635	+103	358	398	+40	-18 (-18)	2 (-8)	+20 (+10)
サービスソリューション事業	495	496	+0	207	187	▲20	-17 (-17)	-13 (-21)	+4 (▲4)
合計	1,027	1,131	+103	565	585	+20	-35 (-35)	-11 (-29)	+24 (+6)

* ()は退職給付信託に拠出していた株式の売却による未認識数理計算上の差異(貸方差異)の一括償却の影響を除いた営業利益

プラントエンジニアリング事業	<p>【受注高】EPC、海外の増加により前期を大幅に上回りました。(受注残高1,022億円)</p> <p>【売上高・営業利益】 EPCにおいては、売上高および営業利益ともに好調に推移し、前期を上回りました。 海外においては、営業利益が前期を下回ったものの、売上高は前期と同水準となりました。 なお、退職給付信託に拠出していた株式の売却による未認識数理計算上の差異(貸方差異)の一括償却の一部として、1,010百万円を原価および販売管理費に戻し入れております。</p>
サービスソリューション事業	<p>【受注高】前年並みに推移しました。(受注残高910億円)</p> <p>【売上高・営業利益】 O&Mにおいては、売上高および営業利益ともに前期を下回りました。また、PPPにおいては、売上高は好調に推移し前期を上回りましたが、営業利益は前期と同水準となりました。 なお、退職給付信託に拠出していた株式の売却による未認識数理計算上の差異(貸方差異)の一括償却の一部として、769百万円を原価および販売管理費に戻し入れております。</p>

連結貸借対照表

前期末の売上債権の回収、買入債務の支払いが完了し、例年どおり現金・預金が増加

(億円)

	'20/3期 期末実績	'21/3期 3Q末実績	増 減
現金・預金	136	163	+27
売上債権	781	404	▲377
棚卸資産	81	269	+188
その他	21	46	+25
流動資産計	1,019	883	▲137
有形固定資産	32	37	+5
無形固定資産	60	84	+24
繰延税金資産	28	31	+3
その他	55	65	+9
固定資産計	175	217	+42
総資産計	1,195	1,100	▲95

	'20/3期 期末実績	'21/3期 3Q末実績	増 減
買入債務	355	221	▲134
短期借入金	*1 (9) 11	(9) 14	+3
前受金	90	203	+113
その他	87	60	▲26
流動負債計	543	499	▲45
長期借入金	*2 (98) 114	(90) 104	▲10
その他	42	37	▲4
固定負債計	155	141	▲14
負債計	699	640	▲59
純資産計	496	460	▲35
負債・純資産合計	1,195	1,100	▲95

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'20/3期 3Q実績	'21/3期 3Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	278	129	▲149
営業キャッシュ・フロー	45	99	+54
投資キャッシュ・フロー	-10	-46	▲35
フリー・キャッシュ・フロー	35	53	+19
財務キャッシュ・フロー	-169	-25	+144
現金・現金同等物に係る 換算差額	0	-1	▲1
現金・現金同等物の期末残高	143	156	+13

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様により有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 経営企画本部 CSR推進室 広報IR部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

補足資料 案件リスト

工事受注（10億円規模以上）

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	南部流域処理場電気設備工事その4	埼玉県	PE
	燕市・弥彦村統合浄水場等整備事業	新潟県	SS
2Q	森ヶ崎水再生センター（東）反応槽機械設備再構築その3	東京都	PE
	南部汚泥処理プラント汚泥焼却設備再構築その2工事	東京都	PE
	北部流域処理場汚泥焼却設備工事	埼玉県	PE
	中清環第1号 中津市クリーンプラザ基幹的設備改改良工事	大分県	SS
3Q	（仮称）倉敷西部クリーンセンター整備運営事業	山口県	SS
	南部汚泥処理プラント汚泥脱水設備その8工事	東京都	PE
	南部流域処理場水処理電気設備改築工事	埼玉県	PE
	受水槽遠方監視制御設備更新工事（その2）	千葉県	PE
	砂沼浄水場浄水施設建設工事（R2～R4継続事業）	茨城県	PE

運転・維持管理（新規受託／業務開始）

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	秋田県県北地区広域汚泥資源化事業 維持管理・運営業務委託 [業務開始(既受託分)]	秋田県	SS
	伊勢原浄水場 運転維持管理業務委託 [業務開始(既受託分)]	神奈川県	SS
	伏見 水処理施設運転管理委託 [業務開始(既受託分)]	京都府	SS
	（仮称）新ごみ処理施設整備・運営事業[新規受託]	東京都	SS
3Q	空見スラッ ジリサイクルセンター下水汚泥固形燃料化事業 運転管理業務委託 [業務開始(既受託分)]	愛知県	SS

受注（海外）

3Q	チェコの浄水場向けセラミック膜エレメント	チェコ共和国	PE
----	----------------------	--------	----